

平成26年2月期 売上客数前年比-確報-

■全社		3月	4月	5月	第1四半期	6月	7月	8月	第2四半期	上期	
既存店	売上	2.8	-9.5		-3.9					-3.9	
	客数	1.7	-10.7		-5.2					-5.2	
	客単価	1.0	1.3		1.3					1.3	
全店	売上	3.6	-8.3		-2.8					-2.8	
	客数	2.5	-9.6		-4.2					-4.2	
	客単価	1.0	1.5		1.4					1.4	
店舗数	新店	8	7								
	退店	0	2								
	店舗数	1,109	1,114								
		9月	10月	11月	第3四半期	12月	1月	2月	第4四半期	下期	通期
既存店	売上										-3.9
	客数										-5.2
	客単価										1.3
全店	売上										-2.8
	客数										-4.2
	客単価										1.4
店舗数	新店										
	退店										
	店舗数										

※既存店---13ヶ月以上稼働している店舗が対象とし、その店舗の前年同月との対比。
 ※月初発表の前年比数値は速報値。中旬以降、確報値を掲載します。

●2013年4月度 概況（下記コメントは速報値の数字をベースにしています）

当月の全社全店売上は前年比91.7%、全社既存店売上は前年比90.5%だった。

当月は、前年に対して日曜日が一日少なく、加えて20日、21日には一部地域において降雪が伴うほどの厳しい寒気と寒暖の差に見まわれた。そうした中、婦人靴やスニーカーを中心に春夏物が大苦戦し、既存店売上が前年に対して大幅な減少となった。曜日まわりの影響は6ポイント程度。

部門別には、紳士靴、スニーカーまで全ての部門が前年売上をクリアできなかった。

PBおよびNPBの販売状況は、紳士靴部門では「ハイドロテック」ブランド全般と「セダークレスト・ウオッシュャブル」、「ビーガイア」、「テキサコ」が好調。婦人靴部門では、OL向け「セダークレスト・キャリアビュート」が販売を伸ばした。又、NPBの「ジッパー」、「MCマリ・クレール」が堅調に推移。スニーカー部門では「バイオフィッター」と「ランタシア」が好調。プロジェクト商品は、1990プロジェクト・4990プロジェクトが堅調に推移するとともに、新たに実施した2990プロジェクトと3990プロジェクトも販売良好だった。

販売点数は減少したものの、販売単価は3%程度増加。

●新規出店---7

●退店---2

●店舗数(2013年4月末)

チヨダ(CY):140

東京靴流通センター+ザ・シューズ(TSRC):581

シュープラザ(SP):355

SPC:36

セダークレストショップ(CC):2

 合計1,114